

議会だより

第15号

- 第2回 定例会報告 2 P
- 審議した議案と各議員の賛否 3 P
- 一般質問 (Q & A) 4 P
- 研修報告 7 P
- 議会の動向・編集後記等 8 P

平成20年8月発行 発行 城里町議会 編集 議会広報委員会
〒311-4391 茨城県東茨城郡城里町石塚1428-25 TEL 029-288-3111(内線301) FAX 029-288-7290

第2回 定例会報告

第2回定例会は、6月10日から4日間の会期で開催され、条例3件・補正予算3件・その他1件・人事2件の議案と、承認8件を審議し、すべて原案どおり可決・承認されました。

また、陳情1件・報告9件がありました。

条例関係

▽監査委員条例の一部を改正する条例について

地方公共団体の財政の健全化法に関する法律が一部を除いて施行され、監査委員の審査に付する規定が創設されたことに伴い町条例を改正するものです。

▽特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

先の副町長の人事について、町長として深慮し、町長の7月分の給与を30%減額するため改正するものです。

▽特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

医療構造改革に伴い、高齢者保健

福祉計画策定委員会及び介護保険事業計画策定委員会の名称を変更するため改正するものです。

その他

▽字の区域の変更について

県営畑地帯総合整備事業飯富岩根（那珂西）地区の土地改良事業が行われたことに伴い、字の区域の一部を変更するため、議会の議決を求めるものです。

平成20年度補正予算関係

別表のとおり3件の補正予算が可決されました。（次頁参照）

人事関係

▽固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

任期満了に伴い、次の方の選任に同意いたしました。

小林 利 信 氏（磯野）
青 柳 輝 夫 氏（孫根）
仲 田 一 司 氏（塩子）

▽人権擁護委員の推薦について

任期満了に伴い、次の方の選任に同意いたしました。

和 田 雅 治 氏（阿波山）
小 田 部 昌 平 氏（下阿野沢）

陳 情

▽後期高齢者医療制度の中止・撤廃を求める陳情書

閉会中の継続審査となりました。

専決処分の承認関係

▽税条例の一部を改正する条例
国において、地方税法の一部が改

正されたことに伴い、町条例の一部を改正し、5月1日から施行したものです。

▽国民健康保険条例の一部を改正する条例

国において、高齢者の医療の確保に関する法律及び健康保険法等の一部が改正され、特定健康診査と保険診査の制度が創設されたことに伴い、町条例の一部を改正し、4月1日から施行したものです。

▽国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国において、後期高齢者医療制度が創設されたことに伴い、健康保険法及び地方税法等の一部が改正されたため、町条例の一部を改正し、5月1日から施行したものです。

▽平成19年度補正予算関係（専決処分）

別表のとおり5件の補正予算が承認されました。（次頁参照）



平成19年度補正予算関係

会 計 別		補 正 額	補正後の額	今回補正の主なもの
一 般 会 計		1,483万円	89億9,650万円	町税、地方譲与税、利子割交付金、ゴルフ場利用税交付金等の増によるものです。
国民健康保険 特 別 会 計	事 業	△3,059万円	22億9,908万円	国民健康保険税、国庫支出金等の減によるものです。
	診 療 所	△907万円	3億2,893万円	診療収入及び繰入金の減によるものです。
老 人 保 健 特 別 会 計		△3,839万円	20億9,012万円	国庫支出金及び県支出金の減によるものです。
介 護 保 険 特 別 会 計	保 険 事 業	1,959万円	12億7,403万円	国庫支出金及び県支出金の増によるものです。
	介護サービス	17万円	567万円	サービス収入の増によるものです。
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		△210万円	9億1,930万円	繰入金を減額したものです。

平成20年度補正予算関係

会 計 別		補 正 額	補正後の額	今回補正の主なもの
一 般 会 計		2,555万円	90億6,555万円	県支出金、繰越金及び諸収入の増によるものです。
国民健康保険 特 別 会 計	事 業	117万円	22億1,703万円	療養給付費等交付金の増によるものです。
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		5,000万円	12億 908万円	国庫支出金、繰入金及び町債の増によるものです。

審議した議案と各議員の賛否（第2回定例会）

○は賛成、×は反対、－は欠席

議案番号等	議 案 名	議 員 名																	
		河原井大介	関 誠一郎	阿久津則男	桐原 健一	飯村 吉伊	小林 祥宏	玉川 台俊	南條 治	杉山 清	寺田 和郎	三村由利子	松崎 信一	小松崎三夫	鯉 秀雄				
承認第1号	税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長の ため 採決 に 加 わ つ て い な い	○	○	○	○
〃 第2号	国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
〃 第3号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
〃 第4号	平成19年度一般会計補正予算第 5 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
〃 第5号	平成19年度国民健康保険特別会計補正予算第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
〃 第6号	平成19年度老人保健特別会計補正予算第 5 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
〃 第7号	平成19年度介護保険特別会計補正予算第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
〃 第8号	平成19年度公共下水道事業特別会計補正予算第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
議案第37号	監査委員条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
〃 第38号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
〃 第39号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 第40号	字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 第41号	平成20年度一般会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 第42号	平成20年度国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 第43号	平成20年度公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 第44号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 第45号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

一般質問 Q & A

町政を問う

今回5人が質問し、その要約を掲載しました。

Q

農業の振興対策について

農業従事者の高齢化により耕作放棄地が年々増している。国の政策で集落営農、認定農業者を対象にしているが、これに満たない農家をどう指導していくのか。

A

小規模農家については、直売センター等を通じ振興を図っていく。

Q

平成20年度の生産調整目標数量は。

A

4、310トンが示され現在とりまとめ中である。

Q

これからの農業は、行政・農協・農業者が一体となったワンフロアーでの事業を展開できないか。

A

農協と行政が一緒になって連絡調整会議等で進めていく考えである。

Q

昔のことばで「農業が栄えれば商店街も栄える」といわれたが、今も生きてるか。

A

農業が振興すれば商業、工業の地域が発展していくと認識している。

Q

那珂川沿岸農業水利事業の現在の進捗状況、さらに今後の計画は。

A

8町村が関係し、受益面積5、544ha、受益者12、651人で、事業費603億で進めている。現在御前山ダム提体工事が、ほぼ完成の予定。管路工事等は20%強で、全体の完成は平成30年度予定。

Q

この事業と霞ヶ浦導水事業との関係は。

A

特に直接関係はない。



小林 祥宏 議員



阿久津則男 議員

ふれあいタクシーについて

利用券は紛失等の発生があるので利用券を廃止し現金化にする考えはないか。

デマンド交通を導入している市町村は、すべて利用券で行っている。

原油高であるが委託業者との契約内容に支障はないか。

当初契約書通り運行しているが更に燃料が高騰した場合、協議もしなければならぬと考えている。

町の診療所に利用者が複数で乗り合わせた場合、片道300円を往復300円にできないか。

道路運送法による許可であり利用者に差別できない。

森林湖沼環境税について

住民に対し環境税について十分な説明がしてあるのか。

県が広報等で数回掲載し、町も自治会等に回覧で知らせた。

環境税による事業で対象になる森林、河川の場所、面積、予算額は。

間伐等面積73ha（常北32ha、桂12ha、七会29ha）予算額666万円。

森林所有者に対しての説明はしてあるのか。

今回塩子11haを予定し、地域住民には説明していきたい。

高度処理合併浄化槽が大網、真端地区に補助対象となるが地域住民に対し説明はしてあるのか。

広報紙等でお知らせした。

那珂川が水質保全整備の対象になっていないが対象になるよう要望できないか。

状況が変わり静観しているところである。



飯村 吉伊 議員

水道未普及地域解消事業（徳蔵地区）について

現在の進捗状況並びに給水開始は。

平成20年3月31日現在で45%、19年度繰り越し分8月末に完了を含めると全体の60%が完了する。給水開始については早ければ年内に小勝地区と徳蔵の一部170戸が給水可能になる。

水戸市消防城里出張所からの消防遠隔地域の消火対策（消火栓）は。

消火栓による徳蔵地区の消防施設整備は、19年度15基、本年度23基、最終的には徳蔵、小勝、上下赤沢、真端、大網地区に消火栓45基設置する。消火栓の設置箇所は概ね120m～140mの範囲を基準とする。

水戸市と城里町の合併について

旧常北町と水戸市との合併について、現在の城里町との状況は。

平成7年12月に水戸市、常北町合併協議会が設置され、平成11年2月まで15回協議が重ねられたが合併に至る合意は得られず協議会が休止となった。現在具体的に水戸市からの城里町へ合併の呼びかけはない。

今後の城里町と水戸市の合併に対する町長の考えは。

周囲の状況、また国・県との関係などから、将来の行く先、そういうものを十分検討しながら考えていく。



桐原 健一 議員

Q 肺炎球菌ワクチンの公費助成について

町として、肺炎球菌ワクチンについて、どのような認識を持っているのか。

A 一回の接種で免疫が5年持続する。診療所においても、肺炎にかかる、重症化しやすい人等には接種を勧めている。

Q 肺炎球菌ワクチン接種は保険適用がなく、費用が6,000円から9,000円程度かかる為、町が一部助成し、高齢者の健康維持と医療費の削減を目指しては。

A 現段階においては、予防措置として、医師の判断に基づきながら接種していく、そういうことで進めてまいりたい。

Q 5歳児健診の推進について

Q 発達障害は早期発見、早期療育の開始が重要な為、5歳児健診を実施すべきと思うが。

A 現在通っている保育園や幼稚園と十分に連絡をとりながら、そういう中でスクリーニングなどによって対策をとっていくことが効果的ではないかと考えている。

Q 食中毒予防（施設改善）について

Q 黄色ブドウ球菌などは調理者の手によって感染するといわれている。各給食センターのトイレを衛生的にも、ウォシュレットのトイレに改善すべきと思うが。

A 食中毒予防の観点から、今後十分検討してまいりたい。



玉川 台俊 議員

Q 後期高齢者医療制度について

Q 公共施設整備基金（競輪の交付金）を活用して、国が切り捨てる年金を含め、所得が一定以下の水準にある高齢者の方々を、町が独自に保険料を助成し、救い上げる制度を新設する考えはないか。

A 国の動向を考慮しながら対応する。

Q 国保連の横領事件について町民に明快に説明すべきではないか。

A 保険者の保険料の値上げなどの新たな負担が生じないよう解決を図る。

Q 行政サービスの向上について

Q 利用者の立場から、桂図書館の「祝日は休館日」の規則を改正して「祝日は開館日」にすべきではないか、また、県立図書館並みの開館時間の延長は考えられないか。

A 改正して祝日は開館、また開館時間の増を図っていく。

Q 入札に関して

Q 予定価格を示さず、再入札までしながら、不調となった理由はなにか、予定した業者が落札できないので、不調にしたとも思われるが。

A 官製談合の誘導については、審査委員会に厳重に点検を指示してあるが、結論的な返事がまだない。

Q 予定価格を示し、透明性のある入札を行うべきではないか。今後は予定価格を示していく。

研修報告

議会広報委員会

新潟県聖籠町議会を研修

せいらうち

去る7月3日、より親しまれる紙面づくりと、より良い編集方法を調査するため、聖籠町の議会広報の発行状況と編集方法について研修してまいりました。

聖籠町議会だよりは、平成19年度の町村議会広報全国コンクールにおいて入選し、これまで幾度となく受賞している。

議会だより発行に当たっては、初回編集委員会を定例会の7日前に開催し、記事、写真及び原稿担当者等の決定をしている。2回目是一般質問の原稿をチェック、見出しの決定、レイアウトの作成を行い、3回目は印刷業者が同席の上、初校を確認し、委員が自宅にて校正を行っている。4回目は最終校正、次号の準備として町民への原稿依頼、記事担当委員及び表紙写真の決定等を行っている。

このように聖籠町議会広報特別委員会では、発行までに4回の委員会を開催し、定例会終了後30日以内に発行している。

編集方針としては、町民に議会の活動状況等を広く知っていただくため、読まれる広報紙を目指しており、「文章は短く」、「見出しは読みやすく」、「写真は大きく、人が写っているもの」及び「余白はうまく利用」の4点に留意しながら編集している。

紙面には「聖籠町に嫁いできたお嫁さん」として、聖籠町に嫁いできたお嫁さんのインタビューを掲載するなど、町民が議会だよりを毎回来しみにするような町民と一体となった議会だよりの発行に努めている。

今回の研修を終えて、議会だよりを発行するにあたり、聖籠町での編集方法や内容等は大いに参考となる研修でありました。これからの議会だよりの発行については、城里町議会だよりの良いところを生かしつつ、今回の研修で学んだことも十分に活用し、町民から親しまれる広報紙の発行に努力してまいりたいと思います。

聖籠町の概要

- 【人口】 13,957人
(5月1日現在)
- 【世帯数】 4,015世帯
- 【面積】 37.99km²
- 【議員定数】 12名
- 【委員会】 2 常任委員会
議会運営委員会
議会広報対策特別委員会



研修後玄関にて



研修風景

小林宏議員に感謝状

茨城県町村議会議長会長として、1年9ヶ月にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、全国町村議会議長会長から小林宏議員に感謝状が贈られました。また、小林議員は会長在職時に、関東町村議会議長会長としてもご活躍されました。



議会の動向（4月～6月）

25日	23日	18日	17日	10日・13日	6日	3日	6月
農業委員会定期総会	第1回農業振興地域整備促進協議会	農業委員会運営委員会	城里町高齢者福祉計画策定委員会	第2回城里町議会定例会	議会全員協議会	議会運営委員会	教育民生常任委員会協議会
25日	23日	17日	16日	10日	9日	8日	4月
市町村長・市町村議会議長会議	農業委員会定期総会	城里町教育研究会総会	議会広報委員会	議会広報委員会	常北幼稚園入園式	農業委員会運営委員会	町内各中学校入学式
25日	23日	17日	16日	10日	9日	8日	4月
市町村長・市町村議会議長会議	農業委員会定期総会	城里町教育研究会総会	議会広報委員会	議会広報委員会	常北幼稚園入園式	農業委員会運営委員会	町内各小学校入学式
25日	23日	17日	16日	10日	9日	8日	4月
市町村長・市町村議会議長会議	農業委員会定期総会	城里町教育研究会総会	議会広報委員会	議会広報委員会	常北幼稚園入園式	農業委員会運営委員会	町内各中学校入学式

議会を傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。どんな計画があってどのように進んでいるのだろうか。みなさんに身近なことが審議されています。

どなたでも傍聴できますので、ぜひ一度議会の傍聴にお出かけください。



傍聴席



傍聴席から見た議場

次回の定例会は、9月の予定です。

（手続きは本庁舎2階総務課で

住所・氏名を明記するだけです。）

日程など詳しい事は議会事務局へ

TEL.029-288-3111
(内線 301)

お知らせ

地球温暖化防止対策に「夏」の軽装「クール・ビズ」を6月から9月までの間、議場においても実施しております。

次号からの表紙に、公民館講座を紹介する写真を掲載することになりました。その際はご協力をお願いいたします。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。先達て、広報委員会では議会傍聴について議論がありました。北海道夕張市のように、今や地方自治体ですら倒産をする時代。議会の町執行部に対するチェック（監視）機能はもとより、その議会に対して（議会がどのように判断、決断又は議論しているか）町民による監視の必要性が、今後ますます必要かと思っています。

年間の傍聴者数は、延40名（報道関係者を除くと各定例会ごとでは7名程）です。他市町村においては、土・日曜に議会を開催している所もあり、地域の諸問題に取り組む議会としては、町民に対して開かれた議会運営と親しみのある広報紙作りにも全力で取り組んで参りたいと思います。

河原井 大 介 記

議会広報委員会

委員長 三村 由利子
副委員長 河原井 大 介
委員 南 條 大 介
玉 川 台 治
阿久津 則 俊
関 誠 一郎